

準天頂衛星と露 衛星データ併用

国土地理院が電子
基準点GNSS化

国土地理院は1日、全国1240点の電子基準点のマルチGNSS化に伴って、全国の4割に当たる東日本地域のデータ提供を始めた。5月10日には、データ提供を全国に広げる。これまでの電子基準点データは、米国のGPS（全球測位システム）衛星だけを使って提供していたが、ロシアのグロナス、日本が独自に打ち上げた準天頂衛星のデータを併用して、都市部や山間部での使い勝手を向上する。

国土地理院は、全国の電子基準点で測位衛星の観測を行い、国内の衛星測量のために観測データをホームページから提供している。このデータを使うと、高価な専用固定基地局を使わない仮想基準点方式の衛星測量が可能になる。

これまではGPS衛星だけしか使用していなかったため、ビルに囲まれた都市部や、山間の山間部では測位衛星の数が少なくなり、誤差も出やすかった。

今回電子基準点の受信機を、日本が打ち上げた準天頂衛星初号機「みちびき」と、ロシアの整備した「グロナス」衛星からのデータも利用できるように改修した。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日 経 | 2. 朝 日 | 3. 毎 日 |
| 4. 読 売 | 5. 岐 阜 | 6. 中 日 |
| 7. 産 経 | 8. 静 岡 | 9. 伊 勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建 通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |

平成25年 4月 3日 (朝) ・ 夕) P 2

建設通信新聞